

国立研究開発法人海洋研究開発機構・ 八戸工業大学連携講座

学務部部长 大 黒 正 敏

社会連携学術推進室室長 熊 谷 浩 二

社会連携学術推進室課長 大 野 和 弘

学務部次長 阿 波 稔

学務部教務課課長 奥 正 克

1. はじめに

地球深部探査船「ちきゅう」の2006年八戸港入港を契機に下北八戸沖石炭層生命圏掘削、気候変動に伴う水産資源・海況変動予測技術の革新と実用化など海洋資源開発の貴重なフィールドとして八戸工業大学の位置する八戸市は、世界的に注目されている。

海洋資源開発には、関連する技術者の育成が不可欠であり、国立研究開発法人海洋研究開発機構（以下、JAMSTECと記す）は、海洋科学技術分野における人材育成の貢献、国内外の大学との協力関係の構築を第3期中期計画において定めている。

海洋開発に係る技術者については、先に閣議決定された日本再興戦略においても育成システムの構築に向けた検討を開始するとしており、今後ますます関連する技術者の育成が肝要となる。

このように地域・社会ニーズに則した人材の育成を推進するにあたり、本学とJAMSTECは、平成27年9月に連携・協力に関する協定を締結した。この協定は、両組織が相互に協力し、海洋資源や海洋環境保全に係る研究開発および人材育成等の進展に資することを目的としている。この締結を記念して、平成27年の9月から連携講座を本学を中心とした八戸市内にて開催することとなった。講座は、JAMSTECから研究者を派遣していただき、海洋工学の現状と未来に関する先進的な内容について合計8回開催された。また、第4回の講座は地球深部探査船「ちきゅう」10周年記念シンポジウムとしても開催され、広く一般市民にも公開された。

以下にその概要を示す。

2. 連携講座の概要

第1回

日時：平成27年9月24日（木）16:10～17:40

場所：多目的ホール（本館2階）

内容：海洋工学の現在と未来

講師：開発・運用担当理事 堀田 平 氏

第2回

日時：平成27年10月1日（木）16:10～17:40

場所：多目的ホール（本館2階）

内容：海底土木工学

講師：数理科学・先端技術研究分野

分野長 阪口 秀 氏

第3回

日時：平成27年10月15日（木）16:10～17:40

場所：多目的ホール（本館2階）

内容：作井（さくせい）技術

講師：地球深部探査センター

運用部 掘削管理グループグループリーダー

猿橋具和 氏

第4回

日時：平成27年10月30日（金）13:30～16:30

場所：八戸グランドホテル

内容：【一般講演】地球深部探査船

「ちきゅう」10周年記念

シンポジウム

講師：高知コア研究所 研究所長代理 稲垣史生 氏

地球深部探査センター

センター長代理 倉本真一 氏

第5回

日時：平成27年11月12日（木）16:10～17:40

場所：G201 講義室

内容：海底土木工学

講師：数理科学・先端技術研究分野

分野長 阪口 秀 氏

第6回

日時：平成27年11月26日（木）16:10～17:40

場所：多目的ホール（本館2階）

内容：掘削装置と各種機器

講師：地球深部探査センター

運用部 掘削管理グループグループリーダー

猿橋具和 氏



写真 第1回講座風景

第7回

日時：平成27年12月10日（木）16:10～17:40

場所：多目的ホール（本館2階）

内容：海洋環境情報の統融合と海の天気予報

講師：地球情報基盤センター

統合地球情報研究開発部

統融合情報研究開発グループ

グループリーダー 石川洋一 氏

第8回 日時：平成28年1月14日（木）16:10～17:40

場所：多目的ホール（本館2階）

内容：海洋環境情報の水産業への活用

講師：地球情報基盤センター

統合地球情報研究開発部

統融合情報研究開発グループ

グループリーダー 石川洋一 氏

3. 平成28年度の活動

平成28年度は、初年次学生を対象に海洋工学の基礎を中心とした学習を通じて幅広い知識を修得するとともに、その後の学習の動機づけを行うことを主目的に「主題別ゼミナールⅠ（1学年・後期）」として授業を進めている。この授業では座学に加えて施設見学も予定されており、学生には将来の進路選択の参考としてもらうことも期待している。

さらに、平成29年度には、海洋資源開発技術者の育成に向け、「（仮称）海洋工学プログラム」を工学部横断型の学修プログラムとして検討する予定である。